



ロールシャッハテストー夜空に落としたインク



ロールシャッハ・テストについては「知っ得ダネ」コーナーに説明があります。

ヨーロッパ南天天文台の星空のなんと美しい写真でしょう。でも、ちょっと待って下さい。だれかが写真の真ん中に何かをこぼしたように見えますね。少なくとも、最初に空のこの正確なもようを発見した天文学者はそう考えたものです。正確なことばはもう少し詩的でした。「かがやく夜空に落とした一滴（てき）のインク」のようだと言ったのでした。

私たちが実際にこの写真で見ているのは、銀河系の最も明るい部分にある、数百万個のかがやく星です。星でいっぱいになったこの領域では、画面の中に黒いところを見つけるのが難しいくらいです。しかし、中心には、特に明るい青い星団のとなり、かわった形の暗い雲が見えます。

星の背景に空いている穴のように見えるかもしれませんが、この暗いつぎはぎは実際に星の前にある小さな独立したチリの集まりです。私たちはこのような雲を「ボック・グロビュール」と呼びます。その雲は小さなチリからできていて、後ろからくる星の光をさえぎって、その場所を空っぽに見せるのです。

ボック・グロビュールは、「分子雲（ぶんしうん：おもに水素分子からなる低温だけれどたくさんの分子が集まっている雲）」という、はるかに大きな雲の残がいです。または、これらの大きな雲の中からは星が生まれているので、より印象に残る名前は「星のゆりかご」です。私たちの太陽の大きさは、たったひとつの分子雲から、太陽のような星が1000万個も生まれることがあります。この写真の中心にある明るい星団の星は、すべて同じ分子雲からできていて、それのとなりにあるボック・グロビュールは残されたわずかな材料です。

COOL FACT

何人かの心理学者は、がん者の精神的な健康をチェックするために、がん者に「ロールシャッハ・テスト」をさせます。ロールシャッハテストとは心理テストの一種で、インクの染みの形から何を想像するかで、テストを受けたがん者の心理状態を調べます。がん者がロールシャッハ・テストで見る形状に応じて、心理学者はがん者の性格特性を決定します。あなたは、この黒いもようから何を想像しますか？私なら、トカゲでしょうか。さて、なんと診断されるでしょう!?

